

目 次

はじめに	3
第 1 章 訓練の概要等	5
第 1 目的	6
第 2 想定	6
第 3 内容	6
第 4 実施日時	7
第 5 会場	7
第 6 主催	10
第 7 参加機関	10
第 8 訓練項目	10
第 9 視察	11
第 10 評価者	11
第 11 終了式	12
第 12 訓練後の検証	12
第 2 章 訓練の詳細等	15
事務局が想定した本部運営訓練及び部隊運用訓練のタイムスケジュール	16
第 1 本部運営訓練	18
1 調整本部・県災害対策本部（山梨県庁）	19
2 指揮本部・指揮支援本部（都留市消防本部）	23
3 指揮本部・指揮支援本部（富士五湖消防本部）	26
4 指揮本部・指揮支援本部（大月市消防本部）	30
5 指揮本部・指揮支援本部（上野原市消防本部）	33
第 2 部隊参集訓練（進出拠点）	36
1 中央自動車道 下り 談合坂サービスエリア	37
2 中央自動車道 上り 双葉サービスエリア	39
3 御殿場市馬術・スポーツセンター	41
第 3 部隊運用訓練	43
1 山中湖会場	44
2 大月会場	80
第 4 情報収集・共有訓練	90
第 5 後方支援活動訓練	93
1 富士北麓公園	93
2 鳴沢スポーツ広場・JA鳴沢村	96
第 6 燃料補給訓練	99
富士北麓公園・道の駅なるさわ第3駐車場	99
第 7 部隊移動訓練	102

第 8	訓練視察	1 0 4
第 9	終了式	1 0 6
第 1 0	都県別・山梨県内参加隊数等	1 0 8

第 3 章	航空部隊等訓練の概要	1 1 1
-------	------------	-------

第 4 章	訓練実施結果から得られた課題とその対策等	1 2 7
-------	----------------------	-------

訓練リーフレット	1 4 1
----------	-------

訓練協力機関	1 4 4
--------	-------

山梨県実行委員会設置要綱	1 4 5
--------------	-------

山梨県実行委員会作業部会設置要領	1 4 8
------------------	-------

山梨県実行委員会事務局規程	1 5 0
---------------	-------

はじめに

令和 5 年 1 1 月 1 4 日（火）・1 5 日（水）の 2 日間にわたり実施した本関東ブロック合同訓練は、山梨県としては、1 0 年前の本訓練が台風第 2 6 号の影響により中止となったため、多数の部隊が集結した実動訓練としては、2 0 年ぶりであり、また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが 2 類相当から 5 類感染症へ引き下げられてから初となる開催となりました。

訓練構成は、1 日目に、本部運営訓練及び部隊運用訓練等の実動訓練を行い、2 日目に部隊移動訓練及び終了式を実施しました。

1 日目は、最大震度 6 強という大地震により、建物の倒壊、火災、土砂災害、道路損壊等が発生し、甚大な被害が生じており、更には富士山北西側において小規模な噴火が起こり、山麓では避難が必要な住民や観光客が多数発生しているという想定を設定しました。同時多発する災害への対応が求められる分散並行型訓練を実施するため、県内に 2 ヶ所の訓練会場を設けて、建物倒壊や土砂災害等、それぞれの会場所在地域で地震により発生することが予測される災害を取り入れた訓練を企画し、既存施設や自然地形を活用した、より実践的な訓練が展開できました。

また 2 日目は、後方支援活動会場より各部隊が部隊移動後、終了式を実施し、事故等なく全ての訓練を終了することができました。

本訓練には、消防機関はもとより、自衛隊、警察、医療機関等、多くの関係機関に参加いただきました。これらの関係機関とともに訓練を実施し、顔の見える関係づくりが構築できたことは、連携強化という面で大きな成果が得られたと考えています。また、本訓練を通し、多くの課題を抽出できたことは、山梨県内の受援体制を検証するうえで貴重な機会となりました。

本書は、訓練の実施結果をまとめるとともに、訓練から得られた課題とその対策等を掲載しました。この訓練を一時的なものとせず、本書が今後の消防・防災体制の充実強化につながれば幸いです。

結びに、訓練を実施するに当たり、会場をお貸しいただいた民間事業者や団体をはじめ、資機材を御提供いただいた協力機関等、多くの方々から御支援をいただきました。こうした御支援のもと、訓練を無事終了することができましたことに、心よりお礼申し上げます。

令和 6 年 3 月

緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練山梨県実行委員会
委員長 細田 孝（山梨県防災局長）

第1章 訓練の概要等



第1 目的

山梨県内での地震に起因する大規模災害を想定し、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱、緊急消防援助隊の運用に関する要綱及び山梨県緊急消防援助隊受援計画に基づく緊急消防援助隊の出動要請、部隊の参集、配備等について山梨県内の受援体制を検証するとともに、実践的な訓練を実施し、山梨県常備消防相互応援隊、緊急消防援助隊及び各関係機関との連携強化を図ることを目的とする。

第2 想定

令和5年11月14日（火）7時30分、「火山の状況に関する解説情報（臨時）」が発表され、その後8時30分、東部・富士五湖地域を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生し、同地域では最大震度6強を観測した。

この地震により建物の倒壊、火災、土砂崩落、道路崩壊等が各地で発生し、被害は甚大で東部・富士五湖全域に及んでいる。

このような状況から山梨県知事は、消防庁長官に対して緊急消防援助隊の出動を要請した。

また、同日10時30分、富士山北西側・標高1,000m付近において小規模な噴火が起こり、山麓では避難が必要な住民や観光客が多数発生している。

第3 内容

1 本部運営訓練

消防応援活動調整本部（以下「調整本部」という。）、山梨県災害対策本部（以下「県災害対策本部」という。）、指揮本部及び指揮支援本部の運営訓練は、次の二部構成で実施した。

（1）第1部

ブラインド型の訓練を実施することで各本部の指揮・調整の能力及び連携能力の向上を図ることを主眼に、総務省消防庁が作成した「緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練図上訓練企画・実施マニュアル」を活用して実施した。

なお、本訓練と実動訓練は連動せずに実施した。

（2）第2部

参集した緊急消防援助隊の活動に対して実践的な指揮・管理を行った。

なお、本訓練は実動訓練と連動させて実施した。

2 実動訓練（図1「訓練項目一覧」参照）

被災地における消防機関と関係機関の連携した消防救助活動に主眼を置き、緊急消防援助隊の部隊参集、部隊運用及び後方支援等の一連の運用を実践的に行った。

なお、本訓練を効率的に実施するため、参加する機関と対応する災害の種別等を次のとおりあらかじめ指定した。

（図1）

都 県	訓練項目一覧（災害種別）
茨城県	座屈倒壊建物救助訓練（木造家屋）
栃木県	土砂災害救助訓練
群馬県	道路陥没事故救助訓練、座屈倒壊建物救助訓練（狭隘空間）
埼玉県	多重衝突事故救助訓練、NBC（毒劇物）対応訓練
千葉県	中高層建物救助訓練、遠距離送水・延焼阻止訓練
東京都	水難救助訓練、噴火災害対応訓練（救助）、座屈倒壊建物救助訓練（狭隘空間）
神奈川県	中高層建物救助訓練、遠距離送水・延焼阻止訓練
長野県	土砂災害救助訓練
静岡県	座屈倒壊建物救助訓練（避難誘導）、水難救助訓練、道路陥没事故救助訓練

第4 実施日時

令和5年11月14日（火）8時30分から令和5年11月15日（水）11時00分まで

第5 会場（図2～図5「訓練会場配置」参照）

1 本部運営訓練

（1）調整本部・県災害対策本部運営訓練

山梨県防災新館4階 会議室 【甲府市丸の内一丁目6-1】

（2）指揮本部・指揮支援本部運営訓練

- ア 都留市消防本部 【都留市上谷二丁目2番9号】
- イ 富士五湖消防本部 【富士吉田市松山五丁目10番13号】
- ウ 大月市消防本部 【大月市大月町花咲1608番地19号】
- エ 上野原市消防本部 【上野原市松留514番地8】
- オ 山梨県消防防災航空隊基地2階事務所 【甲斐市宇津谷445-1】

（概要等は第3章参照）

（図2）本部運営訓練会場



2 部隊参集訓練

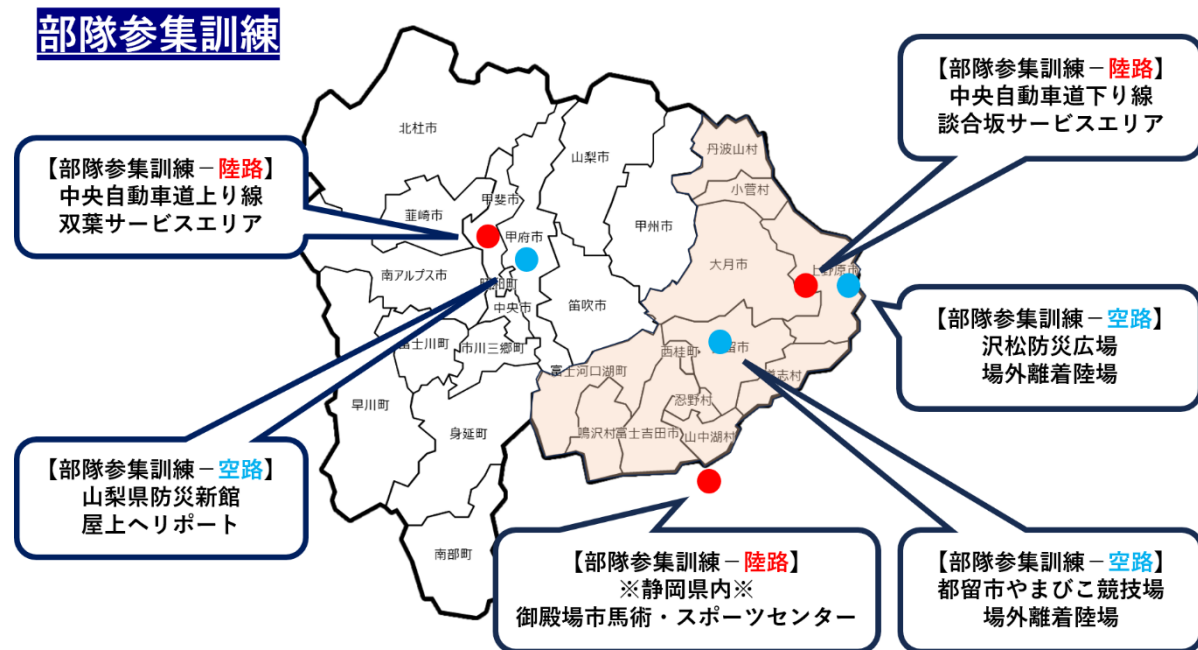
(1) 指揮支援隊

- ア 都留市総合運動公園やまびこ競技場 【都留市上谷6-9-25】
- イ 富士五湖消防本部 【富士吉田市松山五丁目10番13号】
- ウ 大月市消防本部 【大月市大月町花咲1608番地19号】
- エ 沢松防災広場 【上野原市松留407番地3】
- オ 山梨県消防防災航空隊基地2階事務所 【甲斐市宇津谷445-1】(航空指揮支援隊)

(2) 統合機動部隊、都県大隊、土砂・風水害機動支援部隊

- ア 中央自動車道下り 談合坂サービスエリア 【上野原市野田尻710】
- イ 中央自動車道上り 双葉サービスエリア 【甲斐市龍地2630】
- ウ 御殿場市馬術・スポーツセンター 【御殿場市仁杉1415-1】

(図3) 部隊参集訓練会場



3 部隊運用訓練

(1) 山中湖会場

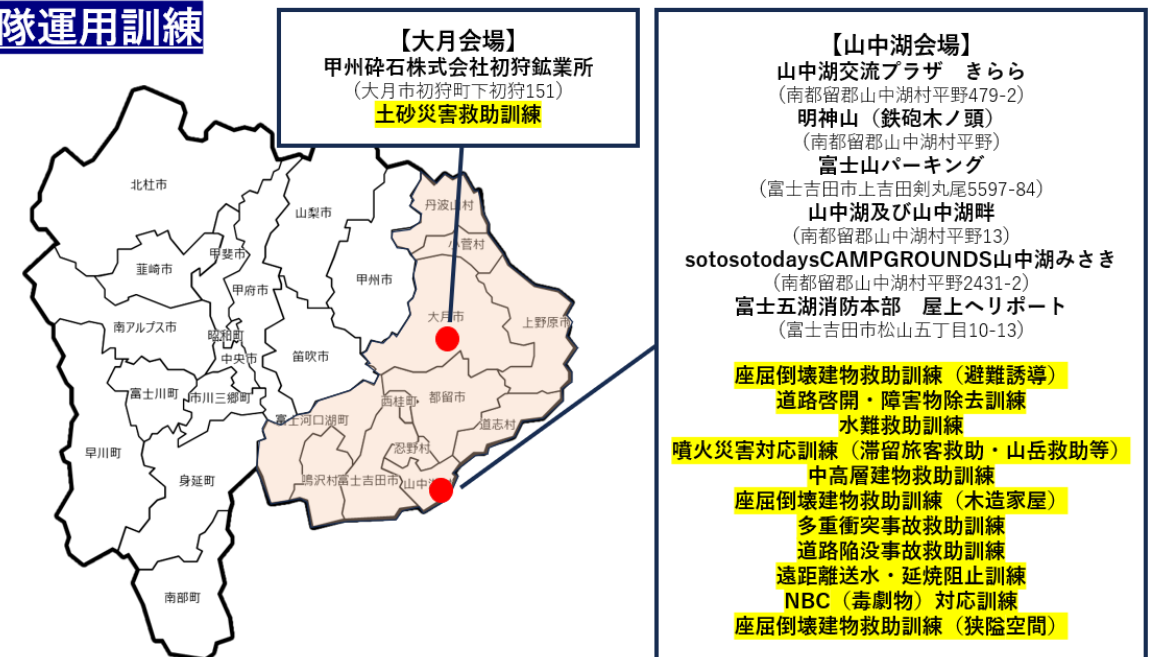
- ア 山中湖交流プラザ きらら 【南都留郡山中湖村平野479-2】
- イ 明神山 【南都留郡山中湖村平野】
- ウ 富士山パーキング 【富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84】
- エ 山中湖及び山中湖畔〈平野の浜〉〈青少年保健の広場〉【南都留郡山中湖村平野13】
- オ sotosotodaysCAMPGROUNDS 山中湖みさき 【南都留郡山中湖村平野2431-2】
- カ 富士五湖消防本部屋上ヘリポート 【富士吉田市松山五丁目10番13号】

(2) 大月会場

- ア 甲州碎石株式会社 初狩鉱業所 【大月市初狩町下初狩151】
- イ 旧初狩小学校 【大月市初狩町中初狩21】
- ウ 笹子河川公園 【大月市笹子町吉久保野尻】

(図4) 部隊運用訓練会場

部隊運用訓練

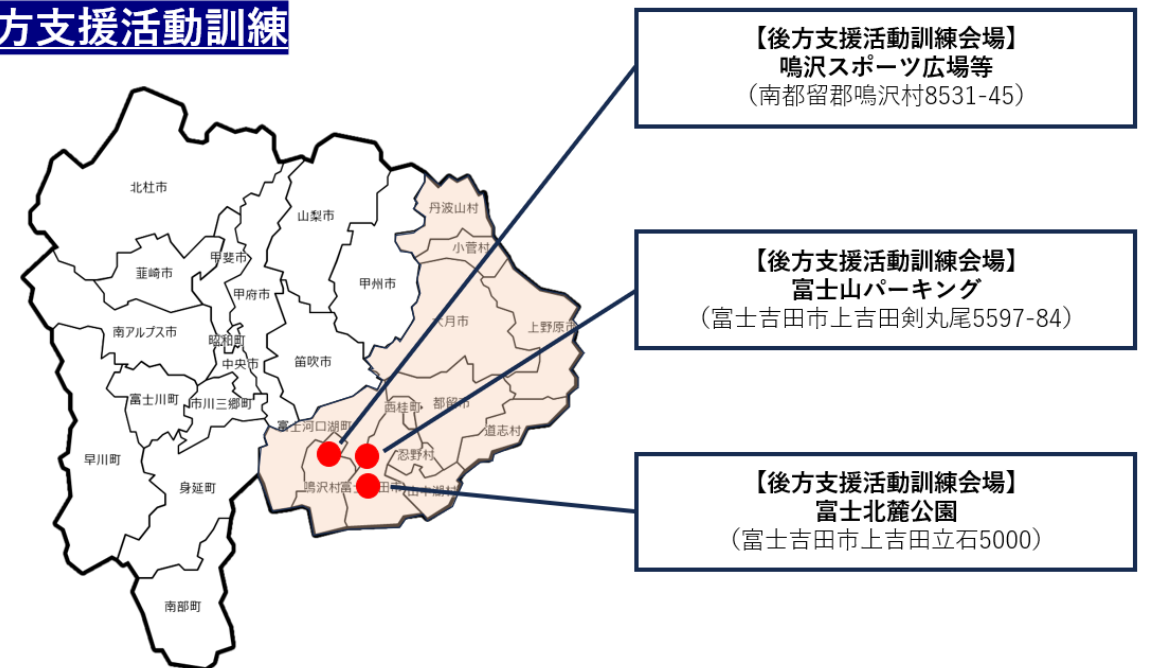


4 後方支援活動訓練(宿営会場及び燃料補給訓練会場)

- (1) 富士北麓公園 【富士吉田市上吉田5000】
- (2) 鳴沢スポーツ広場 【南都留郡鳴沢村8531-45】
- (3) JA鳴沢村 【南都留郡鳴沢村8531-2】
- (4) 道の駅なるさわ第3駐車場 【南都留郡鳴沢村8531-71】

(図5) 後方支援活動訓練会場

後方支援活動訓練



第6 主催

- 1 総務省消防庁
- 2 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練山梨県実行委員会

第7 参加機関

- 1 緊急消防援助隊
関東ブロック1都8県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、静岡県）
- 2 山梨県内消防団
- 3 山梨県内消防本部
- 4 関係機関（順不同）
 - （1）陸上自衛隊
 - （2）山梨県警察本部
 - （3）関東管区警察局山梨県情報通信部
 - （4）国土交通省関東地方整備局（TEC-FORCE）
 - （5）山梨DMAT
 - （6）山梨DPAT
 - （7）一般社団法人日本自動車連盟山梨支部
 - （8）株式会社タカムラ生コン（ミキサー車）
 - （9）エコワークス株式会社（重機関係）
 - （10）山梨愛犬訓練学校
 - （11）登り坂石油株式会社
 - （12）株式会社かいしゃ
 - （13）株式会社タツノ東京支店甲府営業所
 - （14）トキコシステムソリューションズ関東第2支店甲府営業所

第8 訓練項目

- 1 本部運営訓練
- 2 部隊参集訓練
- 3 部隊運用訓練
- 4 情報収集・共有訓練
- 5 後方支援活動訓練
- 6 燃料補給訓練
- 7 部隊移動訓練

第9 視察

緊急消防援助隊の協働・連携体制を把握し、隊員の士気高揚を図ることを目的とし、訓練視察を実施した。

1 日時

- （1）令和5年11月14日（火）17時10分から17時45分
- （2）令和5年11月14日（火）18時30分から19時10分

2 場所

- （1）山中湖交流プラザ きらら（部隊運用訓練会場）
- （2）富士北麓公園（後方支援活動訓練会場）

3 視察者

総務省消防庁参事官、山梨県防災局長、訓練会場地の市町村長等

第10 評価者

全訓練項目において、あらかじめ指定した評価者に訓練の評価を依頼した。

訓練項目	訓練会場	指定評価者
本部運営訓練	山梨県防災新館4階 会議室 （災害対策本部・ 消防応援活動調整本部）	横浜市消防局指揮支援隊該当職員
		静岡県消防防災航空隊
		静岡県職員
		消防庁広域応援室職員
		緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員 （川崎市消防局）
指揮本部・指揮 支援本部運営訓練	都留市消防本部	浜松市消防局指揮支援隊該当職員
	富士五湖消防本部	横浜市消防局指揮支援隊該当職員
	大月市消防本部	静岡市消防局指揮支援隊該当職員
	上野原市消防本部	千葉市消防局指揮支援隊該当職員
航空指揮本部・ 航空指揮支援本部運営訓練	山梨県消防防災航空隊基地 2階事務所	静岡県消防防災航空隊
訓練項目	訓練会場	指定評価者
部隊参集訓練	各参集訓練会場	指揮支援隊長（指揮支援部隊長含む）
		各統合機動部隊長
		各都県大隊長（各部隊長）
部隊運用訓練	各部隊運用訓練会場	各都県大隊長（各部隊長） 緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員 （さいたま市消防局）

情報収集・共有訓練	各情報収集・共有訓練会場	各都県の大隊長又は各通信小隊の小隊長
後方支援活動訓練	各後方支援活動訓練会場	各都県大隊の後方支援中隊長
燃料補給訓練	各後方支援活動訓練会場	給油会場の燃料補給担当員（運営係員）
部隊移動訓練	各訓練会場	部隊移動を指示された各都県大隊長又は各部隊長

第11 終了式

1 日時

令和5年11月15日（水）10時30分から11時00分まで

2 場所

山中湖交流プラザ きらら シアターひびき

第12 訓練後の検証

1 県内検証会（対面開催）

（1）日時 令和5年12月21日（木）13時30分から15時45分まで

（2）場所 山梨県東八代合同庁舎 3階大会議室

（3）参加機関

- ア 県内消防本部
- イ 山梨県
- ウ 山梨県実行委員会

2 全体検証会（書面開催）

（1）参加機関

- ア 訓練参加消防機関
- イ 緊急消防援助隊地域ブロック訓練検討員
- ウ 総務省消防庁
- エ 山梨県実行委員会
- オ 静岡県実行委員会（次年度開催県）

3 検証会の状況

県内検証会 対面開催により実施 全体検証会 書面開催により実施

※全体検証会につきましては、能登半島地震の災害対応を鑑み書面開催としたもの。

検証会 全景（県内検証会）	実施状況（県内検証会①）
	
実施状況（県内検証会②）	実施状況（県内検証会③）
	
全体検証会	
書面開催にて実施したため掲載写真なし	